

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P.347

2001 スクールバス運行に要する経費 14,230,080 円 (14,230,080 円)

[国・県 387,000 円 一財 13,843,080 円]

\* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 387,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童・生徒の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・小文間地区スクールバス運行業務委託 7,128,000 円
- ・小堀地区スクールバス運行業務委託 7,102,080 円

○ 効果

対象児童・生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.347

2201 通学送迎に要する経費 3,353,062 円 (3,336,461 円)

[一財 3,353,062 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・桜が丘小学校通学送迎委託料（大留地区） 753,300 円
- ・永山小学校通学送迎委託（市之代・貝塚地区） 1,841,616 円

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.347

2301 教育情報機器整備に要する経費 120,289,601 円 (109,672,555 円)

[一財 120,289,601 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

主な事業費内訳

- ・ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料 9,450,000 円
- ・教育センターシステムクラウド使用料 34,463,880 円
- ・教育・校務用パソコン使用料 7,750,080 円

- ・校務支援システム使用料 9,992,160 円
- ・教職員用パソコン使用料 18,639,276 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化が図られた。

**[担当：指導課] P. 349**

**3101 いじめ防止対策に要する経費 11,032,649 円 (3,505,574 円)**

[一財 11,032,649 円]

○ 目的

いじめは常に起こり得るという現実を見つめ、いじめを早期に発見し、いじめの芽を摘むための意識改革と仕組みづくりに全力で取り組み、子どもたちが安心して生活し、健やかに成長できる環境を実現する。

○ 内容

- ・いじめ問題専門委員会委員報酬 231,000 円
- ・スクールカウンセラー報酬 4,230,000 円
- ・スクールソーシャルワーカー報酬 1,188,000 円
- ・教育相談員報酬 1,224,000 円
- ・命の授業講演会委託料 756,800 円
- ・いじめ防止アプリ使用料 753,300 円
- ・学校集団アセスメントの実施 1,733,600 円

○ 効果

教育総合支援センターのいじめ対策推進室に専属のスクールカウンセラーや教育相談員を配置したことにより、いじめや学校生活の悩みについて相談しやすい環境が整備され、いじめの早期発見、適切な対処が可能となった。次に、命の授業講演会により命の尊さ、生きていることの素晴らしさについて、専門家を招いて講演会を実施し、自分自身がかけがえのない存在であり、人を大切にすることを学ぶことができた。

さらに、学校集団アセスメントの実施により、教職員が子どもの学校生活に関する意欲、学級に対する満足度に関する情報を得ることで、いじめ防止及びよりよい学級運営につなげることができた。

また、いじめ問題専門委員会の設置により、いじめ防止対策について外部から検証・助言を受けながら、いじめ問題全体に係る取組を実効的に推進する体制が整備された。

**1 教育総務費 3 育英事業費**

**[担当：教育総務課] P. 351**

**2101 奨学生貸付金 4,400,000 円 (4,440,000 円)**

[その他 3,262,100 円 一財 1,137,900 円]

\* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 3,262,100 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学:月額 30,000 円、私立大学:月額 40,000 円

貸付者数

種 別	30 年度 (内 新規貸付)	29 年度 (内 新規貸付)	28 年度 (内 新規貸付)
国公立大学	5 名(1)	5 名(2)	3 名(0)
私立大学	6 名(1)	6 名(2)	5 名(1)
合 計	11 名(2)	11 名(4)	8 名(1)

※平成 30 年度貸付の内、私立大学 1 名途中辞退(5 ヶ月分支給)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

**1 教育総務費 4 教育研究指導費**

[担当: 指導課] P. 351

**0501 教育振興に要する経費 55,726,840 円 (49,474,532 円)**

[国・県 1,749,600 円 一財 53,977,240 円]

\* 特財内訳

[県補: 原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,749,600 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。そこで、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業などの実践を行う。また、社会科副読本「とりで」や取手市地図の印刷を行い授業に活用する。

○ 内容

- ・社会科副読本「わたしたちの茨城県」購入(小学 4 年生) 515,200 円
- ・社会科地図「わたしたちの取手市地図」印刷(小学 3 年生) 460,080 円
- ・社会科地図「取手市全図」印刷(中学 1 年生) 332,640 円
- ・英語指導助手業務委託料 49,248,000 円

英語指導助手(ALT) 12 人(中学校 6 人・小学校 6 人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実を図った。

- ・地域人材活用事業講師謝礼 752,000 円
- ・理科教育用教材購入 1,749,600 円

○ 効果

学習指導要領に沿って、各教科等のねらいを達成する授業を展開するため、外部講師の効果的な活用を図った。また、県補助金を活用した理科教育用教材の購入や、社会科副読本の作成により教材等の充実が図られ、児童生徒の学習意欲を高めることができた。また、英語指導助手(ALT)の活用により、小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び国際教育の充実が図られた。

また、児童生徒が暮らす地域や、技能を有する講師を招いた授業の中で、地域とのつながりや、様々な技能を学ぶ機会を設けることができた。

[担当：指導課] P. 353

1001 特別支援教育に要する経費 6,129,047円(5,258,428円)

[国・県 546,000円 一財 5,583,047円]

\* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 364,000円]

[県補：地域生活支援事業補助金 182,000円]

○ 目的

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児・児童・生徒の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・相談件数

区 分	H30年度	H29年度
未就学児に関して	90件	83件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての協議・判定を実施した。

・判定人数

区 分	H30年度(160人)	H29年度(89人)
新学齢児	50人	47人
在学児童生徒	110人	42人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行った。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」を実施し、相談記録ファイルや移行連絡シートなどを見直し、切れ目のない支援が行われるようにした。

・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H30年度(13件)	H29年度(8件)
保 護 者	11件	0件
教 職 員	2件	8件

・講演会への参加者

区 分	H30年度	H29年度
研修会参加人数	127人	420人

○ 効果

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の課題について早期に発見できたことにより、幼稚園・保育所と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 353

2301 教育総合支援センターに要する経費 25,456,045円(24,394,576円)

[国・県 544,000 円 その他 900,000 円 一財 24,012,045 円]

\* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 363,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 181,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 900,000 円]

○ 目的

教育総合支援センター及び学校において、学校生活における相談に応じ、支援を行う。また、不登校児童生徒等に対応するために、児童生徒が在籍する小中学校や関係機関との連携のもと、適切な援助指導を行う。学校生活における相談の対応にはその状況に応じた援助・支援が必要である。さらに、不登校児童生徒のための適応指導教室を教育総合支援センターに併設することにより、学習面、人間関係の面での指導支援を継続的に行い、早期の学校復帰を目指す。

○ 内容

教育相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団での活動支援、個別の相談業務や対応会議等を行った。これらを通して、児童・生徒が自立しコミュニケーション力をつけ、学校生活に適応できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行い、家庭と連携し、協力体制の強化を図った。

- ・指導主事派遣負担金 9,695,930 円
- ・教育相談員報酬(7人分) 8,568,000 円
- ・子どもと親の相談員謝礼(12人分) 4,617,000 円

○ 効果

教育総合支援センターにおける相談業務について、教育相談員や指導主事が専門的助言を行うことにより相談業務の充実が図られた。また、不登校児童・生徒のための適応指導教室「ひまわりルーム」では、教育相談員がきめ細かな指導及び支援を行い、平成30年度は小中学生計13人の通室者のうち、3人が学校生活に復帰、6名が適応指導教室に通室しながら小中学校に通学することが可能となった。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H30	13 人	9 人	69.2%
H29	10 人	5 人	50.0%

子どもと親の相談員を全小中学校に配置し、児童・生徒及び保護者のための相談活動を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 355

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 2,232,360 円 (2,109,240 円)

[一財 2,232,360 円]

○ 目的

児童生徒が校外で直接見聞する体験学習を充実させるため、移動に必要なバスを運行して、校外での学習活動を支援する。

○ 内容

小学校3・4年生を中心に社会科見学に利用。

主な見学先：常総環境センター・市内公共施設・飲料工場等

- ・移動学習バス委託料 2,232,360 円

○ 効果

学習内容に関連する公共施設や工場等を直接訪れることにより、児童生徒の学習への関心・意欲を高めることができ、校外での学習の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 355

4201 日本語指導員に要する経費 1,743,501円 (2,369,400円)

[一財 1,743,501円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 内容

・日本語指導員賃金 1,743,501円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
H30	5人	中国語1人 ポルトガル語4人 英語2人 韓国語3人
H29	8人	中国語1人 ポルトガル語4人 英語2人 タイ語1人

○ 効果

日本語指導員が付き添うことにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活への適応が図られた。

[担当：指導課] P. 355

4501 学力向上推進事業に要する経費 3,141,567円 (3,588,783円)

[国・県 1,010,200円 一財 2,131,367円]

\* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 1,010,200円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の習得を図り、確かな学力を育成する。

○ 内容

- ・学びの広場サポートプラン講師謝礼(算数) 747,000円  
(市立全小学校4・5年に学習支援員を各学級1人ずつ5日間配置)
- ・学びの広場サポートプラン講師謝礼(数学) 204,000円  
(希望した市立中学校3校の1・2年に学習支援員を各学級1人ずつ配置)
- ・理科特別授業講師謝礼等(小学校15回分) 180,000円
- ・学力向上に関する特色ある取組経費 1,997,828円

○ 効果

国語や算数・数学については、指導方法や指導体制の改善に関する研修会や講演会を通して、授業力向上など教職員の資質の向上が図られた。理科では、小学校に理科特別講師を派遣し、興味関心を高めるとともに小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図った。

また、小学校4年生以上及び中学1・2年生を対象に長期休業期間中等、特に算数・

数学における基礎学力の習得を図ることで、児童生徒の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力が育成された。

[担当：指導課] P. 355

4801 小中連携教育推進事業に要する経費 577,790円 (1,004,210円)

[一財 577,790円]

○ 目的

9年間を見通した一貫性のある学習指導、生徒指導を推進するとともに、小中学校間相互の乗り入れ授業や小中学校間、小学校間の児童生徒の交流活動等を通して、児童生徒の学力向上、学校生活へのよりよい適応を図ることを目的とする。

○ 内容

児童生徒の交流活動移動用バス代・楽器運搬費 577,790円

○ 効果

児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行い、事業の取組を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 355

5001 外部施設を活用した水泳学習推進事業に要する経費

15,739,766円 (16,210,278円)

[一財 15,739,766円]

○ 目的

小学校及び中学校の水泳学習を外部施設の屋内プールを活用し、夏季以外でも水泳学習を行うことにより、計画的・効率的に学習を進め、水泳授業の充実を図る。

○ 内容

小学校は白山小・取手東小・宮和田小の3校で民間プールを活用し、中学校全6校で取手グリーンスポーツセンターを活用して、水泳学習を行う。児童生徒の移動は安全面を配慮し市有バスと借上げバスを利用した。

・水泳学習業務委託(指導料・施設管理費等) 7,956,900円

・児童生徒移動に要する費用(運転業務・バス・自動車借上) 7,782,866円

○ 効果

公共及び民間の屋内プールの利点を生かし、天候に左右されず、年間を通して計画的・効率的に授業を実施することができた。

また、生徒の泳力に応じたきめ細かな指導が可能となった。

[担当：指導課] P. 357

5301 土曜日学習支援事業に要する経費 569,350円 (384,130円)

[国・県 380,000円 一財 189,350円]

\* 特財内訳

[県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 380,000円]

○ 目的

土曜日に、児童に学習の機会と場所を提供し、自ら進んで学習する習慣を身につけさせるとともに、学力向上を図る。

○ 内容

取手市内の小学校高学年を対象に、児童が持参した学校の課題や教材等で自主学習を行う場所を、福祉会館・永山小コミュニティスペース・藤代庁舎の3会場に設ける。学習を支援する人材として、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアを活用する。

- ・土曜日学習支援員謝礼 510,000 円
- ・消耗品等 59,350 円

○ 効果

自ら進んで学習する習慣が身につくとともに、日常では関わることの少ない、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアと交流する貴重な場となった。

[担当：指導課] P. 357

**5401 オリンピック・パラリンピック教育推進事業に要する経費**

241,228 円 (175,000 円)

[国・県 241,228 円]

\* 特財内訳

[県委：オリンピック・パラリンピック教育推進事業委託金 241,228 円]

○ 目的

オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、児童生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

○ 内容

パラリンピアンを招聘しての競技の体験会や講演会を実施したほか、専門家を招いて「おもてなしの心」の講演を実施した。

また、児童自らがインスタントシニアやパラスポーツを体験した。

- ・講師謝礼 202,100 円

○ 効果

パラリンピアンから体験談を聞いたり実演を見たりすることで、パラスポーツやパラリンピックへの関心が高まった。

また「おもてなしの心」の授業における「表情」「態度」「身だしなみ」「言葉遣い」「挨拶」の学びを通して、他者を思いやる心とボランティアマインドが醸成された。

**1 教育総務費 5 青少年育成費**

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 357

**1001 青少年健全育成に要する経費 10,866,640 円 (10,850,319 円)**

[国・県 51,540 円 その他 4,068 円 一財 10,811,032 円]

\* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 51,540 円]

[諸収入：特別青少年相談員雇用保険料本人負担分 4,068 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、



学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,251,000 円(月額 9,400 円×55 人×7 か月)  
(月額 9,400 円×56 人×5 か月)
- 特別青少年相談員報酬 2,712,000 円(月額 113,000 円×2 人×12 か月)
- ・負担金、補助及び交付金 4 団体 1,098,900 円

○ 効果

青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

## 2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.361

2001 小学校管理に要する経費 225,039,152 円 (229,048,364 円)

[その他 7,510,460 円 一財 217,528,692 円]

\* 特財内訳

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,002,910 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 6,400,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 3,408 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 64,379 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 39,763 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図り、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・県の少人数指導加配措置を受けていない小学校 6 校(永山小、取手西小、高井小、山王小、六郷小、久賀小)に TT(ティームティーチング)非常勤講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎力の定着を図った。  
(5,623,141 円)
- ・教育補助員を 14 校に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。  
(74,008,613 円)

○ 効果

TT 非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：学務給食課] P.365

2201 小学校保健衛生に要する経費 27,151,300 円 (27,657,629 円)

[その他 1,932,460 円 一財 25,218,840 円]

\* 特財内訳

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金

@460円×4,201人=1,932,460円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医師(25名)、学校嘱託歯科医師(22名)、学校薬剤師(14名)、産業医(14名)の報酬
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H30	4,704人	574人	816人	5人	574人
H29	4,806人	555人	891人	16人	555人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
H30	59人	59人	59人	8人	54人	59人	59人
H29	43人	43人	43人	12人	40人	43人	43人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)
- ・学校保健用備品(聴力検査機器)購入

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当:学務給食課] P.367

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 23,505,870円(24,912,343円)

[国・県 689,000円 一財 22,816,870円]

\* 特財内訳

[国補:理科教育設備整備費等補助金 689,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位:円)

区分	児童用教材	理科教材	図書	特別支援 学級教材	合計
H30	12,915,394	1,855,383	7,171,000	150,876	22,092,653
H29	11,821,664	2,123,802	8,738,424	940,143	23,624,033

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備すること

で、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P.367

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 45,565,113円 (45,489,453円)

[一財 45,565,113円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 44,517,600円

主にパソコン教室で1人1台の学習ができるタブレット型パソコンの使用料である。

○ 効果

パソコン教室だけでなく、普通教室や特別教室でもタブレット型パソコンとデジタル教材を活用した授業を行うことにより、より一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P.367

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 43,952,227円 (40,551,241円)

[国・県 3,644,071円 一財 40,308,156円]

\* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 79,457円×1/2≒39,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 6,880,746円×1/2以内≒3,360,251円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 244,820円×10/10=244,820円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学援助者数（在校生）

区 分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合 計
H30	35人	527人	4人	566人
H29	25人	462人	6人	493人

・入学準備金支給数

区 分	申請者数	支給者数
H30	70人	64人
H29	79人	61人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H30	289人	202人
H29	272人	190人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができ

た。

[担当：指導課] P. 369

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,757,174円 (2,708,656円)

[一財 2,757,174円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費 1,366,876円
- ・陸上記録会補助金 1,310,000円
- ・賞状印刷代 80,298円

○ 効果

市音楽会、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

## 2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 369

2101 小学校施設整備に要する経費 78,074,660円 (39,711,388円)

[国・県 4,230,000円 地方債 41,700,000円 その他 16,311,000円]

一財 15,833,660円]

\* 特財内訳

[国補：ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 4,230,000円]

[市債：合併特例債 33,966,000円×95%≒32,200,000円]

[市債：小学校ブロック塀等改修事業債

(12,047,000円-4,000,000円)×100%≒7,800,000円]

[市債：減収補てん債 1,700,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 16,311,000円]

○ 目的

白山小体育館アリーナ床の損傷が著しいことから改修を行う。また、ブロック塀等の安全対策が必要な箇所において、既存ブロック撤去及びフェンス設置を行い、児童等の安全確保を図る。

高井小、桜が丘小において、児童数の増加や教室配置の変更により、空調設備が設置されている普通教室が不足することから設置工事を行う。また、取手小エレベーターを現行の建築基準法に適合させるため改修を行う。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

体育館改修工事	10,972,800円
ブロック塀等改修工事	13,786,200円
空調設備設置工事	33,966,000円
小学校エレベーター改修工事	6,480,000円
施設管理営繕工事	12,471,840円

○ 効果

白山小体育館アリーナ床改修工事、ブロック塀等改修工事、高井小・桜が丘小空調設備設置工事、取手小エレベーター改修工事を行い、児童等の安全確保が図られた。

また、各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実に図られた。

[担当：教育総務課] P. 371

2215 小学校建設事業に要する経費(六郷小学校) 93,387,600円(1,186,974,000円)

[地方債 93,100,000円 一財 287,600円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 93,161,000円×95%≒88,500,000円]

[市債：減収補てん債 4,600,000円]

○ 目的

六郷小において、老朽化の著しい旧校舎を解体し、児童等の安全面や教育環境の改善を図る。また、一部倉庫として使用していたため倉庫の新築を行う。

○ 内容

旧校舎解体工事監理業務委託料	1,490,400円
旧校舎解体工事实施設計単価見直し業務委託料	226,800円
旧校舎解体工事	91,670,400円

○ 効果

老朽化の著しい校舎の解体並びに倉庫の新築工事を行い、児童等の安全面や教育環境の改善が図られた。

## 2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 373

2001 給食運営に要する経費 271,222,940円(271,435,251円)

[国・県 4,000円 その他 169,253,645円 一財 101,965,295円]

\* 特財内訳

[県補：米飯給食普及拡大事業費補助金 4,000円]

[諸収入：小学校給食代(自校分) 169,231,892円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 21,753円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(12校)	1,100,088円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(8校)	1,479,600円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(8校)	1,159,920円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(14校)	669,600円
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託(6校) (取手小、白山小、寺原小、永山小、 取手西小、戸頭小)	77,720,580円

空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8校)	320,760円
------------	-------------------------	----------

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.373

2101 給食施設整備に要する経費 6,932,090円 (6,017,959円)

[その他 3,200,000円 一財 3,732,090円]

\* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,100,000円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

修繕料（施設修理や厨房機器等の修繕） 3,508,274円

委託料（給食用備品廃棄処分業務委託料） 48,600円

備品購入費（白山小業務用冷凍庫及び牛乳保冷庫等） 3,375,216円

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

### 3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.375

2001 中学校管理に要する経費 70,178,806円 (70,939,532円)

[その他 4,508,824円 一財 65,669,982円]

\* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 514,330円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 53,420円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,400,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 25,632円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 515,442円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図り、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

教育補助員を1校(取手一中)に配置し、障害のある生徒の生活支援を行った。  
(1,332,752円)

○ 効果

教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：学務給食課] P.379

2201 中学校保健衛生に要する経費 13,526,905円 (13,636,680円)

[その他 937,020円 一財 12,589,885円]

＊ 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×2,037 人=937,020 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医師(12名)、学校嘱託歯科医師(10名)、学校薬剤師(6名)、産業医(6名)の報酬
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H30	2,367人	458人	940人	2人	458人
H29	2,417人	474人	936人	2人	474人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
H30	44人	44人	44人	6人	44人	44人	44人
H29	45人	46人	46人	4人	47人	46人	46人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(教室等の環境検査・水道管理検査)
- ・学校保健用備品(聴力検査機器)購入

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

### 3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.381

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 13,781,441 円 (15,984,847 円)

[国・県 624,000 円 一財 13,157,441 円]

＊ 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 624,000 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位:円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
H30	5,593,782	1,510,542	4,691,636	11,795,960
H29	6,811,416	1,639,129	5,497,832	13,948,377

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 13,331,874円 (24,262,832円)

[一財 13,331,874円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 10,149,084円

主にパソコン教室で1人1台の学習ができるタブレット型パソコンの使用料である。

○ 効果

パソコン教室だけでなく、普通教室や特別教室でもタブレット型パソコンとデジタル教材を活用した授業を行うことにより、より一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P. 381

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 36,211,716円 (37,975,206円)

[国・県 1,491,322円 一財 34,720,394円]

\* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 172,770円×1/2≒86,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,481,925円×1/2以内≒1,226,749円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 178,573円×10/10=178,573円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災生徒就学援助者数

区分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合計
H30	20人	289人	2人	311人
H29	16人	276人	3人	295人

・入学準備金支給数

区分	申請者数	支給者数
H30	98人	98人
H29	81人	81人

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
H30	76人	47人
H29	64人	44人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。



[担当：指導課] P. 381

2901 中学校特別活動助成に要する経費 18,443,147円 (18,191,685円)

[一財 18,443,147円]

○ 目的

音楽発表・体育大会(県南大会・県大会・関東大会・全国大会)等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金	666,400円
・中学校体育連盟補助金(陸上競技大会等運営経費)	530,000円
・市内体育大会補助金(陸上・総体・新人バス代半額補助)	4,066,242円
・関東大会補助金	875,430円
・全国大会補助金	789,600円
・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	11,442,835円
・消耗品・賞状印刷代	72,640円

○ 効果

市音楽会、音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

### 3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 383

2001 中学校施設整備に要する経費 131,331,560円 (16,929,182円)

[国・県 16,245,000円 地方債 104,000,000円 その他 647,000円

一財 10,439,560円]

\* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 14,543,000円]

[国補：ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 1,702,000円]

[市債：合併特例債 (118,415,000円 - 14,543,000円) × 95% = 95,900,000円]

[市債：中学校ブロック塀等改修事業債

(4,676,000円 - 1,558,000円) × 100% = 3,100,000円]

[市債：減収補てん債 5,000,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 647,000円]

○ 目的

中学校の校内LANの機器劣化に伴う改修、及びタブレット型パソコンを普通教室や特別教室で更なる利活用ができるよう無線LAN環境を新たに整備する。

中学校武道場(取手二中、永山中、藤代中、藤代南中)の非構造部材(特定天井・強化ガラス等)の耐震改修工事や一部老朽箇所(屋根・外壁等)の改修工事を行う。

ブロック塀等の安全対策が必要な箇所において、既存ブロック撤去及びフェンス設置を行い、生徒等の安全確保を図る。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

中学校校内LAN改修工事	25,898,400円
中学校武道場非構造部材耐震改修工事監理業務委託料	3,153,600円

中学校武道場非構造部材耐震改修工事	89,363,520円
ブロック塀等改修工事	4,676,400円
施設管理営繕工事	7,999,880円

○ 効果

取手一中、取手二中、永山中、藤代中、藤代南中において無線 LAN 環境を整備したことにより、普通教室や特別教室でもタブレット型パソコンとデジタル教材を活用した授業が可能となったことで、教育環境の充実が図られた。

中学校武道場(取手二中、永山中、藤代中、藤代南中)の非構造部材(特定天井・強化ガラス等)の耐震改修工事や一部老朽箇所(屋根・外壁等)の改修工事、ブロック塀等改修工事を行い、生徒等の安全確保が図られた。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実が図られた。

[担当：教育総務課] P. 383

2105 中学校建設事業に要する経費(戸頭中学校) 436,428,000円(14,580,000円)

[国・県 104,532,000円 地方債 331,800,000円 その他 96,000円]

\* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 104,532,000円]

[市債：合併特例債(436,428,000円－104,532,000円)×95%≒315,300,000円]

[市債：減収補てん債 16,500,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 96,000円]

○ 目的

老朽化の著しい戸頭中校舎の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)及び武道場の非構造部材(照明・強化ガラス等)の耐震改修工事を行い、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

校舎大規模改造・武道場非構造部材耐震改修工事監理業務委託料 9,828,000円

校舎大規模改造・武道場非構造部材耐震改修工事 426,600,000円

○ 効果

戸頭中校舎の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)及び武道場の非構造部材(照明・強化ガラス等)の耐震改修工事を行い、安全かつ快適な教育環境の充実が図られた。

[担当：教育総務課] P. 383

2107 中学校建設事業に要する経費(藤代南中学校) 20,390,400円

[地方債 20,300,000円 その他 90,000円 一財 400円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 20,390,000円×95%≒19,300,000円]

[市債：減収補てん債 1,000,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 90,000円]

○ 目的

老朽化の著しい藤代南中校舎並びに体育館の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)の実施設計を行い、令和元年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

校舎・体育館大規模改造工事実施設計業務委託料 20,390,400 円

○ 効果

藤代南中校舎並びに体育館の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)の実実施設計を行い、令和元年度に速やかに工事が実施できるよう準備が進められた。

**3 中学校費 4 学校給食費**

[担当：学務給食課] P.385

2001 給食運営に要する経費 151,490,232 円 (150,629,085 円)

[国・県 28,000 円 その他 89,324,724 円 一財 62,137,508 円]

\* 特財内訳

[県補：米飯給食普及拡大事業費補助金 28,000 円]

[諸収入：中学校給食代(自校分) 89,315,912 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,812 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(6校)	700,920 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(4校)	723,600 円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(6校)	594,000 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(4校)	723,600 円
学校給食調理業務民間委託料	給食調理業務の民間委託(4校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	49,508,280 円
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託(4校)	122,040 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.385

2101 給食施設整備に要する経費 3,320,478 円 (4,884,229 円)

[その他 600,000 円 一財 2,720,478 円]

\* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 600,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

修繕料(施設修理や厨房機器等の修繕) 3,138,822 円  
 委託料(給食用備品廃棄処分業務委託料) 48,600 円  
 備品購入費(検品用デジタル秤等) 133,056 円

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

#### 4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P.387

2001 幼稚園管理に要する経費 8,756,841 円 (11,495,782 円)

[その他 1,736,698 円 一財 7,020,143 円]

\* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園保育料（保護者負担分） 1,689,100 円]

[使用料：市立幼稚園預かり保育料 33,800 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 13,798 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H30	12 人	23 人	35 人
H29	23 人	29 人	52 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P.389

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 655,251 円 (659,106 円)

[その他 4,860 円 一財 650,391 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135 円×36 人=4,860 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・園医(1名)、園歯科医(1名)、園薬剤師(1名)の報酬
- ・園児健康診断委託 委託先：(公社)取手市医師会

区分	腎臓検診
H30	36 人
H29	50 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

#### 4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P.391

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 25,112,700 円 (27,527,500 円)

[国・県 8,318,000 円 一財 16,794,700 円]

\* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費

25,112,700円×1/3以内≒8,318,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	0人	0人
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	0人	2人	0人	2人	4人
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等)	0人	0人	0人	1人	1人
市民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	0人	0人	1人	1人	2人
市民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等)	0人	1人	1人	0人	2人
所得割課税 77,100円以下 (ひとり親世帯等除く)	2人	7人	6人	6人	21人
所得割課税 77,100円以下 (ひとり親世帯等)	0人	0人	0人	0人	0人
所得割課税 211,200円以下	4人	30人	30人	40人	104人
上記区分以外の世帯	4人	12人	12人	13人	41人
合 計	10人	52人	50人	63人	175人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.391

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 5,941,536円 (6,578,446円)

[一財 5,941,536円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	10人	58人	61人	80人	209人

補助額 5,925,000円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 395

2001 成人式に要する経費 1,807,500 円 (1,860,000 円)

[一財 1,807,500 円]

### ○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出を祝福し、今後の活躍を願い、成人式典を開催する。

### ○ 内容

平成 30 年度新成人の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H30 (H31. 1. 13 実施)	男	516	314	60.85
	女	491	317	64.56
	計	1,007	631	62.66
H29 (H30. 1. 7 実施)	男	523	333	63.67
	女	515	350	67.96
	計	1,038	683	65.80

### ○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで、思い出に残るような冊子を作成できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 395

2201 生涯学習推進に要する経費 3,837,924 円 (4,980,964 円)

[その他 720,000 円 一財 3,117,924 円]

\* 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 720,000 円]

### ○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

### ○ 内容

#### (1)生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2018(来場者約 3,000 人)と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容
取手生活学校	牛乳パックで作る小物の製作
ふじしろ野鳥と楽しむ会	野鳥写真の展示
藤代グランドゴルフクラブ	グランドゴルフの体験
取手市女性活動企画員会議	ギター伴奏に合わせての合唱体験

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を取りで学遊プラザリーダーバンク及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H30		H29	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・講座数	18	531人	17	516人
行政編・講座数	56	1,683人	36	1,128人

(3) 市民大学

○市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。(各講座全5回)

講座名／講師名	開催期間	受講者数
戦国の城めぐり入門～地形と立地から城をみる～ 城郭ライター・編集者 萩原 さちこ氏	5月29日～7月3日	80人
わかりやすい源氏物語Ⅷ 聖徳大学OA講師 赤塚 雅己氏	7月17日～8月21日	70人
怪談「諸国百物語」 聖徳大学OA講師 塚野 晶子氏	8月2日～9月6日	51人
取手の歩み(1) 取手市埋蔵文化財センター職員	10月3日～11月21日	80人
世界遺産への旅 元東急観光グアム駐在所長 京免 宣昭氏	1月23日～2月27日	47人

○東京大学 EMP 特別講座

東京大学エグゼクティブ・マネージメント・プログラム(東大EMP)にご協力いただき、東京大学で知の最先端の研究を行っている教授陣による「未来を拓く先端知」と題された国内第一線の研究者による講座や各界の第一人者に講座、市民大学特別講座特別講演会を行った。

講座名／講師名	開催期間	受講者数
宇宙を俯瞰する～取手から宇宙の果てまで～ 東京大学 EMP 特任准教授 高梨 直紘氏	12月19日	123人
ゲノムで変わる医療の未来 東京大学名誉教授 菅野 純夫氏	1月31日	130人
対話としての哲学の可能性～教育から地域づくりまで～ 東京大学大学院総合文化研究科教授 梶谷 真司氏	2月7日	90人

○市民大学特別講座

講座名／講師名	開催期間	受講者数
東山魁夷－風景画家への道 茨城県近代美術館長 尾崎 正明氏	12月17日	91人
プログラミング体験講座 プラチナマイスター(プラチナ未来スクール)、大学生スタッフ、パソボラ取手	1月15日	24人
プログラミング講座 プラチナマイスター(プラチナ未来スクール)、大学生スタッフ、パソボラ取手	1月29日～ 3月26日	7人

人口減少社会のデザイン 京都大学教授 廣井 良典氏	2月21日	145人
------------------------------	-------	------

○特別講演会

講座名／講師名	開催期間	受講者数
幸せはいつも自分でつかむ 岩崎 恭子氏	11月19日	中止
笑って健康、笑って長生き 立川 らく朝氏	2月26日	269人
生物学的人間教育論 本垣内 英人氏	3月24日	82人

(4) 農業ふれあい体験事業

委託料 198,000円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/12(田植え)	農業 ふれあい 公園	田植え 214人
	9/8(稲刈り)		稲刈り 133人

(5) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、幼稚園・小中学校に家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。

22学級 延べ参加人数 3,708人

(6) 地域づくり型生涯学習推進事業

市民が自ら積極的に社会に参画し、地域の課題解決に向けた活力ある地域づくりの推進及び生涯学習による地域の活性化を図るため、取手市地域づくり型生涯学習推進委員会を昨年度4回開催し、生涯学習の自主講座の検討を行った。

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室において幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、各種講座の専門講師陣により市民に興味のあることについて専門的な知識を与えることができた。また、東京大学の中でも選抜されたEMP(エグゼクティブ・マネージメント・プログラム)の講師という各分野で活躍する最高水準の教授等を招き、「ゲノムで変わる医療の未来」などの特別講座を開催したことにより時代の最先端の知に触れる機会を提供することができた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。



[担当：文化芸術課] P. 397

2701 福祉会館改修事業に要する経費 9,180,000 円

[地方債 9,100,000 円 その他 80,000 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 9,180,000 円×95%≒8,700,000 円]

[市債：減収補てん債 400,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 80,000 円]

○ 目的

福祉会館は老朽化が著しく、維持管理経費も年々増大している。利用者の安全安心な環境を整備し提供するため、大規模改造工事実施設計業務を委託する。

○ 内容

委託名	内容	期間	金額
福祉会館大規模改造 工事実施設計業務委託	大規模改造工事実施設計	H30. 7. 11～ H31. 3. 15	9,180,000 円

○ 効果

設計が完了し、大規模改造工事に向け準備が整った。

[担当：文化芸術課] P. 397

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,055,597 円 (3,995,184 円)

[その他 2,212,000 円 一財 1,843,597 円]

\* 特財内訳

[諸収入：ハロウィンジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,212,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第 47 回 取手市文化祭 (取手地区)	6/9, 10 (2 日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。 伎芸発表と作品展を開催した。 会場：市民会館・福祉会館 委託料：1,000,000 円	3,304 人
平成 30 年度 取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	10 月～11 月 (1 か月間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。 作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000 円	2,221 人
2018 取手美術 作家展	6/16～6/27 (12 日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展 に委託して開催した。36 名の作家が 47 点を出品。 オープニングセレモニーではギャラリーコンサ ート等、また、一般向けギャラリーツアー、市内 小中学生向けギャラリーツアー(4 日間)を実施。 (参加校 9 校、555 名)	2,154 人

		会場:取手ウェルネスプラザ 委託料:712,000円	
第49回 取手市民 美術展	10/26~12/3 (うち33日間)	第1部 日本画、洋画、彫刻 85点 第2部 写真、書、工芸、デザイン 66点 第3部 小中学生、特別支援学級 1,228点 会場:とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費・役務費:438,009円	3,873人
とりで・スク ール・アート フェスティバ ル	1/19~1/25	取手市内にある全高等学校の芸術教育の作品発表 会。美術品の展示や、ワークショップ、取手松陽高 等学校音楽科卒業演奏会などを開催。 会場:取手ウェルネスプラザ 委託料:300,000円	992人

(2)市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	200,000円	団体の運営補助
リングリングドラム サークル	38,000円	一般公募補助事業採択

○ 効果

各文化団体へ補助金を交付することにより、市民が行う文化活動の活性化に寄与した。また、各団体が行う事業は、内容を工夫することで来場者が増加した。

[担当:文化芸術課] P.397

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 78,648,447円(94,094,676円)

[その他 146,837円 一財 78,501,610円]

\* 特財内訳

[諸収入:工事に伴う市民会館光熱水費使用料 146,837円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1)委託料

平成18年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者:公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料:77,852,000円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用日数/使用可能日数)
H30	市民会館	32件	10,567人	41%
	福祉会館	7,216件	164,312人	100%
H29	市民会館	181件	51,450人	53%
	福祉会館	8,093件	173,335人	100%

※市民会館は平成30年度大規模改造工事により7月から3月まで休館

(2) 使用料及び賃借料：494,856 円

項目	内容	期間	金額
福祉会館空調機賃貸料	エアコンリース	9/1～3/31	494,856 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 399

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 6,050,486 円 (5,327,648 円)

[その他 2,557,000 円 一財 3,493,486 円]

\* 特財内訳

[諸収入：ハロウィンジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,557,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 67 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(油画・工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は本庁舎に展示した。

種類	作品名	作者
油画	秘密の花園	岩崎 拓也
工芸(漆芸)	尋常に	野田 怜眞

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

委託料：小学校（美術）指導 2,358,720 円

中学校（音楽）指導 1,482,624 円

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。（交流校 14 校）
- ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。（交流校 6 校）

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：378,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
5/26(土)	福祉交流センター	フルーツ四重奏	4 人	195 人
7/21(土)	戸頭公民館	弦楽四重奏	4 人	150 人
12/22(土)	取手ウェルネスプラザ	ピアノ演奏	5 人	320 人

(4) 親子向け映像制作事業

委託料：390,000 円

東京芸術大学大学院映像研究科との共催で、粘土をコマ撮りして 5 秒程度のアニメーションを制作するワークショップを実施した。映像作品は、後日サイクルステーション取手で開催されたアートプロジェクションでも投影された。

夏休み期間である 8 月 5 日に開催し、18 組のグループが参加した。

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：教育総務課] P. 399

3101 郷土資料収集・整理・保存に要する経費 6,329,371 円 (2,280,399 円)

[その他 40,157 円 一財 6,289,214 円]

\* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 7,357 円]

[諸収入：市史売却代 32,800 円]

○ 目的

令和2年の市制施行50周年に向けて、取手市史・藤代町史編さんの成果に市制施行50年の歩みを加え、「多くの人が手に取って、読んで、内容を理解し、親しめる」取手市史追補版を編さんし、刊行する。

○ 内容

『取手市史』、『藤代町史』編さん後の調査で判明した史実について、収集した資料の整理を進めた。

【主な経費】

一般非常勤報酬 5,171,869 円

- ・市史追補版編さん担当文化財調査員 1名 (週5日、6.75時間勤務)
- ・市史追補版編さん担当資料整理非常勤職員 2名 (週3日、5.5時間勤務)

○ 効果

郷土資料の収集・整理・保存を進めることで、『取手市史追補版』発刊に向けた基礎的作業が進展した。

[担当：文化芸術課] P. 401

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 32,317,307 円 (42,126,402 円)

[国・県 4,760,000 円 その他 18,914,976 円 一財 8,642,331 円]

\* 特財内訳

[国補：文化芸術振興費補助金 4,760,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,100,000 円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,874,976 円]

[諸収入：ハロウィンジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 3,940,000 円]

[諸収入：地域の芸術環境づくり助成金 5,000,000 円]

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手 JAZZ・DAYZ」

○ 内容

委託料：4,000,000 円(公益財団法人取手市文化事業団)

取手市民会館及び福祉会館で東京芸術大学、アマチュアバンド、プロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市外近郊からたくさんの人が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。(入場者数 5,535 人)

(2) 藤代イルミネーション

○ 内容

委託料：1,674,000 円(藤代イルミネーション実行委員会)

会場を藤代庁舎から藤代スポーツセンターへ移し、「和」をテーマに竹をモチーフにしたイルミネーションを制作した。夏にランタンを作るワークショップを開催し、その作品をイルミパーツとして使用したり、点灯式当日も会場で同様のワークショップを開催し、点灯の合図と同時に来場者にランタンを点灯してもらうというプログラムを実施した。

○ 効果

ワークショップで作ったものを点灯式でイルミネーションの一部として使用することで参加者に会場へ足を運んでももらうきっかけを作ったり、点灯式にも実質的に参加してもらうことでより楽しんでもらえるような工夫をこらし、アートとイルミネーションの融合を沢山の方を感じてもらうことができた。

(3) 壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料：6,469,000 円(取手市壁画によるまちづくり実行委員会)

芸術が生活の中に自然に溶け込んだアートのあるまちづくりを目指し、平成 17 年度から「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、東京芸術大学の協力を得ながら、「壁画」制作を中心としたプロジェクトを展開してきた。市民には大変好評であり、環境改善や防犯にも大きな役割を果たしてきた。

平成 30 年度も国際コンペティションを実施し、応募作品 40 点のうち大賞に選ばれたアメリカ在住の壁画家 DAAS 氏の作品が「取手駅西口 JR 擁壁」に描かれ、全長約 70 メートルの壁画が完成した。

○ 効果

「壁画」を制作することにより、落書きや不法ビラ等をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、芸術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。さらに、JR 取手駅前に複数壁画を制作することによって、壁画のダイナミック・優雅さが増し、壁画に対する市民関心度が増大した。

(4) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：700,000 円(NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス)

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を幹旋する事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

①「アーティストのための会計講座」若手アーティスト向けに税金等の会計講座を開催。(34 名参加)

②「知ったかアート大学」市民向けにアート初心者講座を開催。(77 名参加)

③「とりでアートの日」と題した、とりでアートギャラリー他 3 会場を使ったワー

クショップを実施。(6 講座 73 名参加)

○ 効果

アーティストと市民のスキルアップ講座は、継続して行うことで参加者が増えた。講座から、気軽に参加できるワークショップまで幅広く事業展開することで、市民一人ひとりに芸術への意識の差があっても様々なニーズに応えることができた。

(5)井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料：5,687,472 円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟を UR 都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

- ・UR 都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す。
- ・7 戸のうち 1 戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1 戸につき 2 名以上、利用期間 2 年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101(管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2 人	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人	5 人

○ 効果

25 名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。7 月にオープンスタジオを開催し、ワークショップ、アーティスト青空市を行った。また、JR 上野駅のステーションギャラリーにおいて代表作家 2 名による作品展示を行った。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(6)取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000 円(取手アートプロジェクト実行委員会)

取手アートプロジェクト(TAP)は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成30年度事業	半農半芸、アートのある団地 等
開催期間	通年
事業内容	<p>・「半農半芸」では、引き続き藝大食堂にて食品サンプルケースをミニギャラリーとして使用し、年間で8名の作品を展示し、18,329名の藝大食堂利用客の目に触れた。その他にも、3名のアーティストに高須地域の地域調査および成果発表をしてもらう「アーティスト イン レジデンス」や、高須地域の農家の野菜を「ひだまりのひマルシェ」で紹介するなどの事業を行った。</p> <p>・「教育普及・人材育成」事業では、アーティスト同士を繋ぐ交流の場として「スナックたっぷ」を開催したり、個人の得意なことを預かる「とくい銀行 井野本店」の運営を行った。また、次年度の記念事業に向けて市民から取手アートプロジェクトにまつわる思い出エピソードを募集した。延べ236名の参加。</p>

・地域の芸術環境づくり助成金

補助金：5,000,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

公益財団法人自治総合センター「平成30年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）」の助成を受けた事業。「アーティスト アズ レジデント！郊外型アート・センター実験室2018」を実施。

・文化芸術振興費補助金

補助金：4,760,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

文化庁「平成30年度文化芸術振興費補助金(文化芸術創造拠点形成事業)」の助成を受けた事業。「創造郊外都市～共創型アート・センター実験室2018」の実施。

○ 効果

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行して以来、長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「半農半芸」をメインの軸としてプロジェクトを展開。次年度の取手アートプロジェクト発足20周年という記念の年に向けて、市民参加型の事業展開も行ったことで、同時に次年度への周知ができた。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(7)JOABN アートライン協議会

○ 内容

負担金：400,000円

JR常磐線沿線の4つの区と4つの市（台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市）と、東京藝術大学、そしてJR東日本東京支社が「アート」をキーワードとして関わりながら、常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、それぞれの「街」や「人」をつなげていく取り組みをしている。

平成30年度は、常磐線沿線の4区4市と東京藝術大学・JR東日本のスタンプを集めると、オリジナルグッズが先着でもらえる「JOBANアートラインスタンプラリー ～繋がる人まちアート～」を実施。各自治体のスタンプ設置イベント会場では、例年実施しているアートアンブレラも開催した。

○ 効果

例年参加者が増え、JOBANアートライン協議会の活動が浸透してきており、沿線内外への情報発信力の強化と交流人口の拡大に繋がっている。

[担当：文化芸術課] P.401

**3401 市民会館改修事業に要する経費 941,590,000円（69,396,210円）**

[国・県 9,827,000円 地方債 930,800,000円 その他 53,000円 一財 910,000円]

\* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金  $18,900,000 \times 14\% \times 1/3 = 882,000$ 円]

$17,890,000 \times 1/2 = 8,945,000$ 円]

[市債：合併特例債  $(940,680,000 - 9,827,000) \times 95\% \div 884,300,000$ 円]

[市債：減収補てん債 46,500,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 53,000円]

○ 目的

市民会館は、建築後47年を経過し老朽化が著しく、維持管理費も年々増大している。

利用者の安全安心な環境を整備し提供するため、耐震補強工事並びに大規模改造工事を実施する。

○ 内容

耐震補強を各箇所にしたのはじめ、外壁や屋根の塗装、駐車場の整備及び客席の椅子を全面的に入替え、背もたれや足置きスペースにゆとりのある仕様になった。また、舞台設備の音響や照明設備も一新した。併せて工事の進捗がスムーズに進行するため、監理業務を委託した。

○ 効果

市民会館の施設管理を適切に行うことにより、文化活動の拠点の提供を行い、市民の文化振興に寄与した。

**[担当：スポーツ生涯学習課] P. 401**

**3501 IT 基礎技術講習会に要する経費 1,494,207 円 (1,049,946 円)**

[一財 1,494,207 円]

○ 目的

IT 講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

急速に進展する情報化社会に対応するため、パソコンボランティアを中心に公民館を利用して成人を対象に IT 講習会を実施した。

○ 効果

パソコンの基本操作やワード、エクセルの入門講座に加えて、デジカメ入門や動画作成等の幅広いニーズに対応した講習会を実施し、多くの受講生の技術向上に寄与した。

**[担当：文化芸術課] P. 403**

**3601 アートギャラリーの設置に要する経費 8,181,000 円**

[地方債 8,100,000 円 その他 5,000 円 一財 76,000 円]

\* 特財内訳

[市債：アートギャラリー整備事業債 8,181,000 円×75%≒6,100,000 円]

[市債：減収補てん債 2,000,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,000 円]

○ 目的

とりでアートギャラリーきらりが入居している民間ビルが北地区土地区画整理事業の進捗により、建物移転となり平成 30 年度末をもって閉鎖したことから、取手駅前に新たにアートギャラリースペースを整備する。

○ 内容

駅ビル 4 階スペースにアートギャラリー施設を整備するにあたり、工事内容及び工事費用を算出するため実施設計を行った。

○ 効果

設計が完了し、とりでアートギャラリーの整備に向け準備が整った。



[担当：文化芸術課] P. 403

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6,636,057円(6,880,297円)

[その他 214,140円 一財 6,421,917円]

\* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 67,440円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 146,700円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
にこにこ元気なとりでっ子! 作品展	8/1～8/31	市内公立、私立保育所(園)・幼稚園 18カ所に通う4歳児、5歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて4カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。	971人
小中学生児童生徒作品展	1/25～2/11	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ(県展入選作品を含む)の優秀作品展。	1,431人
明日へと繋ぐ特別展	3/9～3/18	市が所蔵する貴重な絵画作品および取手の風景絵葉書の原画を展示。3月10日には、美術評論家清水康友氏によるギャラリートークを開催。	1,000人

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
4/12～4/18	16人+αの写真展
4/21～4/26	東日本銀行OBと家族の作品展
5/31～6/5	絵を描く仲間たち展
9/8～9/16	いばら会 パステル画展
9/18	MOA美術館児童作品展 審査
9/22～9/23	取手市小中学校科学研究作品展・発明工夫展
10/6～10/15	MOA美術館児童作品展
10/17～10/23	戸高武敏個展

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行った。

利用件数

ギャラリー名	平成30年度	平成29年度
取手駅市民ギャラリー	54件	37件
藤代駅市民ギャラリー	32件	21件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 403

3801 放課後児童対策事業に要する経費 118,271,350円(118,864,365円)

[国・県 42,445,000円 その他 43,282,729円 一財 32,543,621円]

\* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金 @54,027,000円×1/3=18,009,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 @54,051,000円×1/3=18,017,000円]

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子供教室推進事業費補助金 @5,568,700円×2/3=3,712,000円

地域の教育支援体制等構築事業費補助金

@4,060,500円×2/3=2,707,000円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 42,592,750円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 400,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 289,979円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成20年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校1年生から小学校6年生までを対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、工作、絵手紙、手話体験、将棋教室などの体験活動を行った。また、身近な外来生物による生態系問題について、親子を対象とした外来生物講座を開講し、親子で環境問題を考える学習の機会を提供した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

放課後子どもクラブ登録児童数(通常利用登録者)

平成31年3月31日現在(単位:人)

小学校名	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
取手小	46	45	45	33	24	15	208
白山小	40	41	38	29	16	4	168
取手東小	45	57	50	51	27	16	246
寺原小	42	31	35	33	28	12	181
永山小	35	27	43	18	11	8	142
取手西小	28	39	25	26	6	17	141
戸頭小	49	59	37	39	23	11	218
高井小	32	27	31	5	7	4	106
山王小	10	4	11	7	3	1	36
六郷小	9	11	6	15	12	2	55
藤代小	52	43	49	25	27	12	208
宮和田小	27	43	36	14	14	8	142
久賀小	24	25	17	19	10	9	104
桜が丘小	31	24	21	17	7	4	104
合計	470	476	444	331	215	123	2,059

○ 効果

児童の健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 405

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 318,538 円 新規

[国・県 212,000 円 一財 106,538 円]

\* 特財内訳

[県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 @318,538 円×2/3≒212,000 円]

○ 目的

訪問型家庭教育は、地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えて行くことを目的とする。

○ 内容

- (1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる家庭訪問
- (2) 訪問対象 市校長会から推薦いただいた小学校2校（久賀小、桜が丘小）の小学1年生児童を持つ家庭の保護者（91名）
- (3) 実施内容 ①保護者からの相談への対応  
②保護者に対する情報提供
- (4) 実施状況

学校名	対象人数	延べ訪問日数	面談者数	面談割合	訪問票
久賀小学校	44名	76回	37名	84%	7名
桜が丘小学校	47名	122回	38名	81%	9名

※訪問票は、3回以上訪問して不在の家庭にのみ、配付。

○ 効果

保護者から相談いただいた案件について支援員による相談業務を行うことで、保護者の悩みや不安の解決のきっかけを提供できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 407

4401 都市・農山漁村の地域連携による子ども農山漁村交流推進モデル事業に  
要する経費 2,280,881 円 新規

[国・県 2,105,881 円 その他 175,000 円]

\* 特財内訳

[国委：都市・農山漁村の地域連携による子ども農山漁村交流推進モデル事業委託金  
2,280,881 円-175,000 円=2,105,881 円]

[諸収入：都市・農山漁村の地域連携による子ども農山漁村交流推進モデル事業  
参加者負担金 @7,000 円×25名=175,000 円]

○ 目的

子ども達へ異年齢間交流の機会を提供するとともに、自然の厳しさや恵みを体験し、自然の素晴らしさに触れ、自分で感じることで、考えることの楽しさへの気づきの機会を与えることを目的とする。

○ 内容

(1) 夏季交流事業 (8月19日から21日まで)

参加者 取手市25名 みなかみ町11名

民泊先にて農業体験、東京藝術大学講師によるワークショップ(自然の材料を用いて川の絵を作製)、ラフティングの体験

(2) 冬季交流事業 (1月6日から7日まで)

参加者 取手市25名 みなかみ町10名

カローリング(体育館等の床上で行うカーリング)、雪原で雪遊び

○ 効果

知らない者同士が一緒になって宿泊し、一緒に体験活動をすることによって、違う環境に育ったもの同士の理解を深め、同時に自分たちの育った環境の良さを再認識することができた。

## 5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 407

0501 公民館事務に要する経費 44,367,100円(54,309,929円)

[その他 9,967,911円 一財 34,399,189円]

\* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 9,586,976円]

[手数料：コピー手数料 242,720円]

[諸収入：印刷機使用料 137,975円]

[諸収入：電話通話料 240円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行う。主な経費は公民館の需用費、委託料である。

・光熱水費 17,465,987円(各公民館施設の光熱水費)

・委託料 18,425,994円

(各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託他)

○ 効果

公民館の維持管理を適切に行い、利用環境の充実と利用者の利便性を図った。

[担当：公民館] P. 411

2101 公民館活動に要する経費 1,664,071円(1,614,923円)

[一財 1,664,071円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が14館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実を図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催し地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

・報償費 1,144,719 円（各公民館講師謝礼等）

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	戸頭子どもまつり	7月	1	309	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図る。
	サマースクール	8月(4館)	4	49	小学生を対象にした工作教室やチアダンス体験教室を実施した。
	ハロウィン工作	10月	1	29	小学生を対象にしたハロウィン工作を実施。戸頭子どもふれあい広場と共催。
	クリスマスケーキ作り教室	11月	1	33	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭子どもふれあい広場と共催。
	しめ飾りづくり(小学生)	12月	1	20	山王小5年、6年生対象のしめ飾りづくり講座を実施した。
	新春子どもの集い	1月	1	170	餅つき大会、どんど焼きを行い、伝統行事や習慣を伝える。
	クリスマス人形劇	12月	1	120	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	料理講座	12・2月	2	22	小学4年から6年生を対象にした料理講座を実施した。
	英語で遊ぼう講座	2月	1	20	六郷小児童及び保護者を対象とした英会話講座を実施した。
	昔遊び	2月	1	33	小学生を対象とした昔遊び体験を実施。戸頭子どもふれあい広場と共催。
	親子で楽しい折り紙教室	3月	1	12	就学前の子どもと保護者を対象に、小さなお子さんでも製作可能な折り紙作り講座を実施した。
	あかちゃんお話し会	3月	1	4	0歳の乳幼児から3～4歳児の親子を対象に、絵本の読み聞かせ会やパネルシアター、わらべうたの実演を実施した。
女性	女性学級	年間	各学級11	1学級 16人～39人 8学級(159人)	出合いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級11～12	1学級 13人～100人 3学級(148人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	4月～3月	13	1学級 195人	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
成人	着付け教室	7・11月	3	48	ゆかたや正月の着物の着付けを学ぶ教室を開催。
	ふるさと講座	9～11月	4	137	郷土に関する歴史の学習を通し、郷土愛と交流を深めた。

成人	健康教室	9～2月	4	74	高齢者の健康づくりと運動をテーマに講座を実施した。
	初心者のそば打ち体験講座	11月	1	15	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り作り講座	12月 8館	8	123	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
一般	運動会	5・10月	3	1,080	六郷、山王で小学校と合同開催。相馬は地域で開催。
	地域交流会	5月	1	37	地域親睦と健康増進を目的に、ハイキング（ウォーキング）を開催し、地域の交流を深めた。
	鉢花・盆栽等展示会	6月	2	63	地域住民による鉢花・盆栽等の展示で地域の親睦を深めた。
	球技大会（ソフト）	6月	1	50	ソフトボールの振興と相馬地区の地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ペタンク大会	6・10月	2	103	スポーツ（ペタンク）を通じて、各世代間の交流を図った。
	夏まつり	8月	3	1,350	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
	寺原地区親善ソフトボール大会	10月	1	40	寺原・本郷・駒場地区4チームにより地域住民の親睦と健康増進を目的にソフトボール大会を開催した。
	永山・戸頭地域親善ゲートボール大会	10月	1	30	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善と健康増進と技術の向上を目的に大会を開催した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	11月	1	36	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	子どものつどい	11月	1	160	家族や仲間と一緒に地図を片手に歩くウォークラリーを開催。
	クリスマスコンサート	12月	1	150	市民参加型のクリスマスコンサートを開催した。
公民館まつり	2月～3月	12	6,048	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。	

・各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H30	福社会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H29		
小文間公民館	H30	1,292	10,517
	H29	1,149	10,545
永山公民館	H30	2,793	39,759
	H29	2,795	40,792
寺原公民館	H30	2,338	35,230
	H29	2,440	38,767

井野公民館	H30	4,119	77,546
	H29	4,216	78,100
戸頭公民館	H30	4,399	73,937
	H29	4,289	72,689
白山公民館	H30	2,632	47,760
	H29	2,694	50,054
藤代公民館	H30	2,784	42,758
	H29	2,436	42,964
山王公民館	H30	882	8,416
	H29	870	8,343
六郷公民館	H30	952	13,809
	H29	944	15,517
相馬公民館	H30	1,145	13,383
	H29	1,137	13,545
相馬南公民館	H30	1,689	20,534
	H29	1,678	20,784
高須公民館	H30	355	3,987
	H29	395	4,913
久賀公民館	H30	823	8,889
	H29	746	8,816
計	H30	26,203	396,525
	H29	25,789	405,829

○ 効果

地域の特色を生かした、学級講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、まちづくりや人づくりを推進することができた。

[担当：公民館] P. 411

2301 公民館施設整備に要する経費 13,415,046 円 (12,214,905 円)

[その他 11,798,000 円 一財 1,617,046 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金 11,398,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 400,000 円]

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行う。

- ・ 修繕料 4,091,946 円 (各公民館施設の修繕)
- ・ 工事請負費 7,578,900 円
  - 藤代公民館授乳室設置工事 4,881,600 円
  - 相馬公民館空調機改修工事 2,697,300 円

○ 効果

藤代公民館の授乳室設置や相馬公民館の和室と会議室の空調設備改修を行い、施設の充実と利用環境整備を図った。

## 5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 413

2001 図書館管理運営に要する経費 54,741,159 円 (24,493,167 円)

[地方債 24,700,000 円 その他 7,914,197 円 一財 22,126,962 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 24,732,000 円×95%≒23,400,000 円]

[市債：減収補てん債 1,300,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 7,900,000 円]

[諸収入：工事に伴う図書館光熱水費使用料 14,197 円]

### ○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切に施設の維持管理を図る。

### ○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所要の修繕や改修を行った。

事業名	内容	金額(単位:円)
取手図書館外壁・屋根改修工事	外壁・屋上防水の全面改修他	24,732,000
取手図書館自動ドア修繕	自動ドアの老朽化対策修繕 (駆動部の取替)	518,400
取手図書館空調水電動弁交換修理 及び室外機ブレーカー交換修理	機能不全を起こした室外機 2 基 の故障部品を交換	160,920
取手図書館館内照明設備修繕	不点灯照明器具及び異音発生照 明器具の交換 LED 化	604,800
取手図書館ブラインドカーテン 取替修繕	脱落など経年劣化が著しいブラ インドカーテンを交換修繕	864,000
取手図書館 1 階空調室外機運転 不良修繕	機能不全を起こした室外機 1 基 の故障部品を交換	356,400
ふじしろ図書館エレベーター 戸開走行保護装置設置工事	エレベーター1号機・2号機のP・ S波一体型感知器、停電時自働着 床装置、戸開走行保護装置を設 置	4,428,000
ふじしろ図書館空調機修繕	空気調和機 ACU1・2 のベルト、 冷温水 1・2 次ポンプのベアリン グを交換	594,000
ふじしろ図書館空調機温度調節器 他修繕	氷蓄熱チラー熱源ユニットの温 度調節器・センサーを交換	421,200
ふじしろ図書館一般書架閲覧席 照明修繕	一般書架閲覧席の照明 5 台の修 繕	205,200

### ○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、修繕等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全に努めた。

[担当：図書館] P. 415

2101 図書館活動に要する経費 86,582,280 円 (87,125,462 円)

[その他 755,131 円 一財 85,827,149 円]



＊ 特財内訳

[手数料：コピー手数料 111,620 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金 600,000 円]

[諸収入：電話通話料 60 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 41,551 円]

[諸収入：印刷機使用料 1,900 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・ 学校図書館－市立図書館連携事業（ほんくる）の運用  
 本の魅力を発信する図書館 Web サービス並びに学校図書館と市立図書館とのシステム連携及び図書配送サービスの運用。  
 図書館システム賃借料（4～3 月） 37,854,864 円  
 図書配送業務委託料 5,693,292 円
- ・ 学校との連携 学校図書館への支援  
 学校司書研修会（4 月・10 月）  
 蔵書点検の指導・実施（1 月・3 月）  
 図書館システム活用・運用についての指導（随時）  
 学校訪問おはなし会（市内小学校全校 3 学年及び希望学年 1,924 人）  
 放課後子どもクラブ訪問おはなし会（8 回 参加者 179 名）  
 家庭教育学級への講師派遣（18 回 参加者 329 名）
- ・ うちどく（家読）  
 「スマートウェルネスとりでの推進事業」のうち地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。
- ・ 子育て支援  
 ブックスタート事業（年間 24 回 643 冊配付）  
 乳幼児・児童向け読み聞かせ（196 回開催 参加者 2,364 人）  
 地域子育て支援センター訪問（年間 12 回 参加者 370 名）  
 こども発達センターおはなし会（5 回開催 145 名）
- ・ 図書館だより 「ライブラリープラス」（年 6 回発行）
- ・ 中高生向け本の情報紙 「ほんバナ」（年 4 回発行）
- ・ 図書館まつり 取手図書館（5/20 1,600 人） ふじしろ図書館（4/22 1,633 人）
- ・ 特別展示「効き目ほんわか こころのお薬 100 冊」（8/21～10/30）  
 自殺予防週間に合わせ、いのちやこころについて考えるための図書の展示や情報提供を実施した。（総貸出点数 2,011 冊）

(2) 登録者数

（単位：人）

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H30	631	4,674	2,369	1,848	2,518	3,514	5,529	6,944	4,393	13,598	46,018
H29	680	4,777	2,324	1,872	2,424	3,345	5,507	6,748	4,188	12,952	44,817

H28	706	2,524	1,800	1,908	2,180	3,233	5,481	6,578	3,960	12,352	40,722
H27	709	2,684	1,834	2,163	2,572	3,834	6,270	7,142	4,323	13,009	44,540
H26	712	2,703	1,882	2,098	2,359	3,575	6,143	6,500	4,052	12,167	42,191

(3)利用状況

・入館者数

館名	入館者数(単位:人)				
	H30	H29	H28	H27	H26
取手図書館	149,093	152,153	159,144	171,288	172,237
ふじしろ図書館	166,972	167,906	179,787	192,766	192,403
合計	316,065	320,059	338,931	364,054	364,640

・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位:人)					
	H30	H29	H28	H27	H26	
取手図書館	65,682	67,132	78,628	83,757	83,777	
ふじしろ図書館	61,000	63,687	80,870	85,640	87,990	
戸頭公民館図書室	32,510	32,441	38,081	38,872	39,413	
小文間公民館図書室	208	225	295	272	327	
寺原公民館図書室	4,478	4,022	4,406	4,390	4,265	
永山公民館図書室	962	867	917	862	686	
ゆうあいプラザ図書室	2,784	2,627	3,310	3,138	3,002	
井野公民館	1,670	1,383	1,926	2,051	1,940	
取手駅前窓口	6,743	5,466	4,968	5,173	4,898	
山王公民館	98	104	98	99	126	
六郷公民館	333	401	466	625	652	
相馬南公民館	729	535	503	478	553	
学校配送	小学校	1,765	1,030	—	—	—
	中学校	468	291	—	—	—
合計	179,430	180,211	214,468	225,357	227,629	

・貸出冊数(個人貸出)

館名	貸出冊数(単位:冊)				
	H30	H29	H28	H27	H26
取手図書館	231,682	235,419	239,826	251,604	258,776
ふじしろ図書館	221,087	224,526	242,875	254,961	262,406
戸頭公民館図書室	98,324	98,180	103,153	104,196	106,913
小文間公民館図書室	459	479	528	565	765
寺原公民館図書室	9,976	8,704	8,727	8,894	8,862
永山公民館図書室	2,665	2,462	2,149	1,901	1,338
ゆうあいプラザ図書室	7,403	6,605	7,547	7,106	7,271
井野公民館	3,405	2,575	3,612	3,865	3,757
取手駅前窓口	13,282	10,914	8,711	9,508	8,754
山王公民館	159	178	146	136	167
六郷公民館	595	728	778	1,058	1,089
相馬南公民館	1,148	837	758	719	905

学 校 配 送	小学校	8,828	3,288	—	—	—
	中学校	891	384	—	—	—
合 計		599,904	595,279	618,810	644,513	661,003

※学校配送は、平成29年10月から開始

・予約(リクエスト)利用状況

予約(リクエスト)件数	予約件数(単位:件)				
	H30	H29	H28	H27	H26
	116,266	103,501	106,453	109,609	110,485

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような事業を実施した。さらに、学校図書館との連携により児童・生徒の読書への関心が高まり、これまで年々減少傾向にあった図書館の利用率も回復基調に転じ、子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受けるなど十分な成果を上げることができた。

[担当：図書館] P.415

2201 図書館資料購入に要する経費 34,156,156円 (34,361,183円)

[その他 828,003円 一財 33,328,153円]

\* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 754,000円]

[諸収入：図書弁償金 41,047円]

[諸収入：広告掲載料 32,956円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

既定の収集方針に基づき、図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・H30年度館別購入数

館 名	図書		雑誌	
	購入冊数	購入金額	購入種類	購入金額
取 手 図 書 館	5,691	11,313,784	75誌	731,192
ふじしろ図書館	5,816	10,614,093	87誌	902,953
戸頭公民館図書室	2,285	4,348,542	27誌	296,851
計	13,792	26,276,419	156種類	1,930,996
館 名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額	購入件数	購入金額
取 手 図 書 館	12紙	380,081	53点	83,459
ふじしろ図書館	17紙	510,699	134点	953,463
戸頭公民館図書室	10紙	281,894	22点	91,659
計	17種類	1,172,674	209点	1,128,581

※新聞の購入種類は、同紙名の夕刊も1紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載した

・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書(単位:冊)				
	H30	H29	H28	H27	H26
取手図書館	140,608	137,933	135,601	134,617	131,555
ふじしろ図書館	143,612	140,143	137,735	133,998	125,903
戸頭公民館図書室	53,877	57,850	56,546	56,236	55,718
小文間公民館図書室	2,376	2,401	2,365	2,338	2,578
寺原公民館図書室	4,489	4,129	4,518	4,760	5,006
永山公民館図書室	4,460	4,713	4,614	4,537	5,002
ゆうあいプラザ図書室	9,779	9,894	9,854	9,552	8,559
合計	359,201	357,063	351,233	346,038	334,321

館名	雑誌(単位:タイトル数)				
	H30	H29	H28	H27	H26
取手図書館	90	90	77	94	93
ふじしろ図書館	94	94	90	97	96
戸頭公民館図書室	29	30	30	32	32

館名	AV(単位:件)				
	H30	H29	H28	H27	H26
取手図書館	548	486	325	299	270
ふじしろ図書館	5,445	5,307	5,108	4,918	4,753
戸頭公民館図書室	115	88	78	61	0
合計	6,108	5,881	5,511	5,278	5,023

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、図書館の利用が拡大した。

## 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P.417

2001 文化財保護に要する経費 1,986,400円 (3,721,585円)

[その他 174,000円 一財 1,812,400円]

\* 特財内訳

[諸収入：市史売却代 174,000円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料であるため、文化財保護法や県・市条例等により文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用に努め、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 1,953,000円

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位:円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8	【 】は補助率
国	竜禅寺 三仏堂	10,000	62,000	【1/2】 402,000 [防災設備受信機・操作盤移設]
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	10,000		
	大日山古墳(岡神社)	10,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		【県補助金を除いた額の1/2】 1,129,000[樹勢回復]
	長禅寺 三世堂	10,000	31,000	【定額】 10,000 [文化財防火デー]
	東漸寺 山門・観音堂	10,000	37,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	51,000	
	白山神社 本殿	10,000	37,000	
	中妻貝塚(福永寺)	10,000		【1/2】 84,000 [維持管理(草刈り)]
	阿弥陀如来坐像(金仙寺)	10,000		
	絹本金箔地刺繍釈迦涅槃図(信楽寺)	10,000		

(千円未満切り捨て)

## (2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」において本陣ガイドツアーを実施した。また県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

## ・本陣ガイドツアー

開催日	内容	来場者	備考
11/2～11/4	本陣ガイドツアー	101人	各日の午前11時からと午後2時からの2回、埋蔵文化財センター職員が本陣の見所を見学者に解説した。

## ・長禅寺三世堂特別公開

公開日	内容	来場者	備考
11/2～11/4	内部特別公開	476人	

## ○ 効果

文化財の保存・管理について、管理者の負担軽減を図るため補助金を交付するとともに、維持・修理を計画的に実施することができた。また、文化財の特別公開により、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P. 417

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 8,327,880円(8,427,757円)

[その他 1,192,000 円 一財 7,135,880 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,000,000 円]

[諸収入：本陣駐車場使用料 192,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容
H30	週3日 (金・土・日)	162日	6,095人	37.6人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H29	週3日 (金・土・日)	163日	6,348人	38.9人	同上

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	1,770,216 円

・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,386,082 円
見学者用トイレ改修工事	1,036,800 円
日常管理委託料	492,480 円
庭園維持管理委託料	799,200 円
機械警備委託料	90,720 円
消防用設備保守点検委託料	171,720 円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めているとともに、見学者の約6割が市外からの訪問者となっている。また、JRの「駅からハイキング」期間中などに特別公開日を設け、市の魅力ある観光資源として見学者の利便性の向上に努めている。平成30年度は指定文化財として保存、維持に当たるほか、見学者用トイレの改修工事を実施し、利用者の更なる利便性の向上を図った。

[担当：教育総務課] P.419

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,422,628 円 (1,460,468 円)

[その他 241,422 円 一財 1,181,206 円]

\* 特財内訳

[負担金：発掘調査原因者負担金 221,772 円]

[諸収入：郷土史売却代 19,650 円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確

認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要

土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査(試掘)や個人住宅等の発掘調査を9遺跡15件で実施した。

【主な経費】

- ・ 市内遺跡確認調査発掘作業委託料 932,554 円
- ・ 機器使用料(バックホウ等使用料) 246,240 円

(2) 南中原遺跡発掘調査(事業者(原因者)負担事業) 221,772 円

確認・緊急調査により、南中原遺跡の1件で奈良平安時代の竪穴建物跡が確認されたが、該当地は宅地造成により保存が困難であったため、原因者である事業者の経費負担により、記録保存のための本発掘調査を実施した。

○ 効果

平成30年度は、縄文時代から江戸時代の宿場跡までの9遺跡15件を調査し、奈良平安時代の竪穴建物跡などの貴重な資料が出土した。調査により、重要な市内遺跡の記録保存を実施し、貴重な資料を得ることができた。

[担当：教育総務課] P.421

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 739,247 円 (765,893 円)

[一財 739,247 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
来館者数	4,904 人	5,901 人	5,601 人

(2) 展示活動

展示名	期間	来館者数 (1日平均)	経費	内 容
第44回企画展「人物でたどる取手の明治維新」	H30/7/17 ～9/24 開館61日	1,601 人 (26.2 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 326,160 円 (ポスター、 解説図録)	明治維新150年記念事業として、幕末から明治維新时期にかけて活躍した取手出身、取手にゆかりのある人物を取り上げて、郷土史への理解と関心を高めた。 講演会(H30/9/8)「相楽総三とその顕彰運動」 参加者141人 講師:岩立将司先生(徳川記念財団学芸員) 歴史講座1(H30/7/28)参加者115人 歴史講座2(H30/8/25)参加者167人

資料展「孝明天皇紀附図」	H30/11/27 ～H31/1/24 開館 37 日	285 人 (7.7 人)		宮内庁が所蔵する「孝明天皇紀附図」の複製を展示し、幕末の朝廷の姿を紹介した。
第 45 回企画展「先人たちのものづくりを探る」	H31/2/15 ～4/21 開館 59 日 内 H31/3/31 まで 41 日	1,841 人 (31.2 人) H31/3/31 まで 1,409 人 (34.4 人)	印刷製本費 326,160 円 (ポスター、解説図録)	先史時代の人びとが、身近にある材料でさまざまな道具を作り暮らしていたことを、出土した遺物から紹介した。 考古学講座 1 (H31/3/16) 参加者 88 人 考古学講座 2 (H31/3/30) 参加者 78 人 考古学講座 3 (H31/4/13) 参加者 75 人

○ 効果

活動により、市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることができた。

## 6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,786,500 円 (1,389,660 円)

[一財 1,786,500 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額 6,300 円×延べ 191 人=1,203,300 円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,241,000 円 (9,277,000 円)

[一財 9,241,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29 部	5,086 人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修 各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催 行事への協力及び参加、競技別大会の企画 運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9 連盟 33 単位団	指導者 276 人 団員 1,016 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室 の企画運営、認定員養成講習会、取手ブ ロック近隣市町村交流会、市主催行事への協 力及び参加、各種講習・研修会への参加



○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2002 社会体育振興関係経費 911,341 円 (904,735 円)

[一財 911,341 円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

事業名	参加人数	場所
第23回 小学生ドッジボール大会	124人	取手グリーンスポーツセンター
第15回 市民親睦ソフトボール大会	163人	取手緑地運動公園
第27回 ソフトバレーボール大会	195人	取手グリーンスポーツセンター
第19回 グラウンドゴルフ大会	154人	北浦川緑地
第47回 新春健康マラソン大会	1,613人	取手緑地運動公園
第26回 ふれあいウォーキング	183人	とりかんコース
第13回 市民ペタンク大会	93人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2003 スポーツ振興奨励関係経費 2,226,000 円 (2,843,000 円)

[一財 2,226,000 円]

○ 目的

スポーツ大会出場奨励金を交付することにより、市民スポーツの高揚並びに競技意欲の向上を図る。また、選手も上位大会を目指すことができ、ひいては日本代表や国体選手の育成に繋がることを目的とする。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

年度		関東大会	全国大会	国際大会
H30	団体	0件	10件	0件
	個人	12件	38件	5件
H29	団体	3件	12件	2件
	個人	16件	36件	4件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体

の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2101 学校施設開放に要する経費 477,267 円 (462,695 円)

[一財 477,267 円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、市民のスポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	登録人数	開放学校数
H30	265 団体	5,746 人	23 校
H29	267 団体	6,641 人	25 校

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2301 いきいき茨城ゆめ国体 2019 開催に要する経費 73,089,991 円 (8,768,792 円)

[国・県 15,227,000 円 その他 5,009,301 円 一財 52,853,690 円]

\* 特財内訳

[県補：国民体育大会補助金 15,227,000 円]

[諸収入：国体関連事業費助成金 5,000,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 9,301 円]

○ 目的

国民体育大会として本市においては、自転車(トラック・レース)とボウリングが正式競技、武術太極拳が公開競技として実施される。またデモンストレーションスポーツとしてダンススポーツとエアロビックが行われる。障害者スポーツ大会として本市において、ボウリングと卓球バレーが行われ、全体で7競技が開催される。各競技の実施に向け必要な体制づくり及び準備を行う。

○ 内容

第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会の各競技が本市で開催されたことに誇りを持つように関係団体との協働体制を築いた。さらには、全国から訪れる選手・役員をはじめ応援観戦される皆様を温かくお迎えできるよう大会成功に向けた準備を滞りなく行った。

また、先催県である福井国体の視察を行った。

○ 効果

国体会場として正式競技の自転車(トラック・レース)とボウリング競技リハーサル大会を効率的な開催運営を行い、更には広報PR活動を展開し、第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会の機運が醸成された。

## 6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 226,201,321 円  
(267,652,911 円)

[地方債 101,500,000 円 その他 74,000 円 一財 124,627,321 円]

\* 特財内訳

[市債：グリーンスポーツセンター整備事業債 101,574,000 円×75%≒76,100,000 円]

[市債：グリーンスポーツセンター整備事業債  
(101,574,000 円－76,100,000 円)×75%≒19,100,000 円]

[市債：減収補てん債 6,300,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 74,000 円]

### ○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

### ○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

指定管理料 122,062,000 円

#### (1) 利用状況

(単位：人)

施設名	H30	H29	増減
室内プール	125,491	122,861	2,630
遊水プール	16,570	12,962	3,608
第一体育室	66,935	46,333	20,602
第二体育室	10,847	8,280	2,567
トレーニング室	66,571	64,143	2,428
柔道場	14,572	13,804	768
剣道場	6,900	7,510	△610
弓道場	11,676	12,608	△932
健康相談室	414	408	6
スポーツ障害相談室	47	37	10
研修室	15,834	14,422	1,412
会議室	832	692	140
和室	1,574	1,477	97
その他	15,854	11,231	4,623
合計	354,117	316,768	37,349

#### (2) 工事一覧

取手グリーンスポーツセンター洋式トイレ改修工事 95,580,000 円  
取手グリーンスポーツセンター高圧電気設備改修工事 5,994,000 円

### ○ 効果

令和元年度開催の茨城国体にむけて、平成 29 年度までに体育室部分の改修を終え、平成 30 年度においてはトイレの改修工事や電気設備の改修を行い、利用者にとって安全で安心して利用でき、かつ快適な環境づくりができた。近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 45,063,667円 (46,241,225円)

[その他 15,382,343円 一財 29,681,324円]

\* 特財内訳

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 8,933,430円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,426,000円]

[諸収入：コピー手数料 2,980円]

[諸収入：印刷機使用料 16,830円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 3,103円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	H30	H29	増減
アリーナ	34,895人	36,483人	△1,588人
レクリエーション室	4,808人	5,639人	△831人
多目的グラウンド	6,867人	6,142人	725人
野球場	9,905人	9,299人	606人
テニスコート	11,084人	11,562人	△478人
広場計（ピクニック広場、クレア広場）	4,388人	3,863人	525人
会議室	668人	749人	△81人
合計	72,615人	73,737人	△1,122人

(2) 工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
体育館A系統 空調設備改修工事	6,426,000円	H30/8/11～ 10/31	新規空調機器設置 (室内機6台、室外機1台) 既存空調機器撤去処分 (室内機6台、室外機1台)

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 431

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 5,485,012円 (8,427,263円)

[その他 2,808,570円 一財 2,676,442円]

\* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 2,112,570円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 696,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、武道場(柔道場・剣道場・弓道場)の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	H30	H29	増減
柔道場	8,879人	8,520人	359人
剣道場	10,011人	9,359人	652人
弓道場	772人	869人	△97人
師範室	1,999人	753人	1,246人
合計	21,661人	19,501人	2,160人

(2) 委託料

項目	契約金額	契約期間	内容
藤代武道場トイレ改修工事実施設計業務委託料	696,600円	H30/8/9～ H31/3/15	トイレ改修工事実施設計業務

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 431

2401 社会体育施設管理に要する経費 1,945,234円 (1,991,121円)

[その他 323,850円 一財 1,621,384円]

\* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 323,850円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

利用状況

高須体育館	H30	H29	増減
利用人数	8,814人	8,551人	263人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

## 6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 433

2001 給食センター運営に要する経費 136,735,349円 (142,334,427円)

[国・県 35,000円 その他 121,835,430円 一財 14,864,919円]

\* 特財内訳

[県補：米飯給食普及拡大事業費補助金 35,000円]

[諸収入：幼稚園給食代 2,114,391円]

[諸収入：小学校給食代（センター分）76,848,023円]

[諸収入：中学校給食代（センター分）42,870,890円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 2,126円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主に、子どもたちに安全な食材による給食を提供するための経費である。

賄材料費 124,643,801 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.435

2101 給食センター施設整備に要する経費 84,013,709 円 (35,881,132 円)

[地方債 49,000,000 円 その他 2,375,000 円 一財 32,638,709 円]

\* 特財内訳

[市債：給食センター整備事業債 49,075,200 円×75%≒36,800,000 円]

[市債：給食センター整備事業債

(49,075,200 円－36,800,000 円)×75%≒9,200,000 円]

[市債：減収補てん債 3,000,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,375,000 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	11,371,113
修繕料	調理機器及び施設修繕料	3,533,265

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	12,046,320
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	313,200
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	507,600
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	汚水・排水処理施設保守点検及び清掃	2,244,240
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラー保守点検及び運転管理一部代行(9月より)	483,840
ボイラー運転・管理委託料	技士による運転管理(7月まで)	1,728,000

(3) 工事請負費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
蒸気ボイラー改修工事	老朽化したボイラーの改修	49,075,200

(4) 備品購入費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
調理機器等の購入	包丁まな板殺菌庫、冷凍庫、高速度ミキサー	1,763,640

○ 効果

給食センターの施設整備・衛生管理等の充実を図ることができた。